



ゴロスケ報々



キタテハ



友の会活動報告

●望年会の報告●

快晴の12月23日、望年会を行いました。例年のように、瀬上さとやまもりの会から10kgのもち米を頂きました。また今年は栄区で使わなくなった木臼、杵3本を譲り受け、従来の臼とともに餅つきに使わせてもらいました。今年は餅つきや料理の準備のほか、ピクニック広場で植林をしました。12時からあんころ餅、納豆餅、豚汁、焼き芋を頂き、今年の会員の健闘をねぎらい、来年のさらなる発展を誓いました。

なお、参加者は昨年のおよそ50人で、盛況でした。

ZFC吉田

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●第30回定期総会のお知らせ●

今年、2018年10月には友の会設立30周年を迎えます。友の会は30年間、毎年毎年、着実に実績を積み重ね、そのことは総会資料に最も集約され、皆で成果を共有できる大切な機会となっています。会員の皆様の参加・提案をお待ちしています。

- 日 時 2018年4月1日(日) 10:00～
場 所 自然観察センター研修室
議 案 ・2017年度事業報告・決算報告
・2018年度事業計画・予算
・理事監事の選任
・その他

◆終了後、「森の説明会」(隔月開催の「森を守るボランティア体験」のオリエンテーション部分＝観察の森の役割、活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラにまだ参加していない会員の方は、この機会にぜひご利用ください。(当日受付時に事務局までお声かけください。)

●1月定例会報告●

日 時 2018年1月21日(日) 9:00～10:30
出席者 青木、秋元、今村、大浦、落合(議長)、佐々木、関根(書記)、高橋、谷垣、次田、中里村松、三村、山口、吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議題

1. 行事報告
1 1月中旬から1月上旬の行事・活動の報告をしました。
行事は予定通りに実施されました。
1 2月17日の森を守るボランティア体験は、3名の参加がありました。
1 2月23日の望年会は会員50名の参加がありました。
2. 行事予定
1 月下旬から4月上旬までの行事の確認を行いました。
3. 各PJの活動報告と活動予定の確認を行いました。
4. ごろすけ館の利用調整を行いました。
5. 事務局より
・次年度行事計画、PJ活動計画、プロフィール集の検討をしました。
・次年度の「森を守るボランティア体験」の担当PJの検討をしました。
・カレンダーの販売、ありがとうございました。12月中旬に100部完売しました。
6. センターより
「観察センターだより」のページをご覧ください。

〈次回の定例会〉

次回定例会は、3月18日(日) 9:00～ 観察センター研修室
※定例会は会員の方どなたでも参加できます。

●1月理事会報告●

日時 2018年1月21日(日) 10:55~12:25

出席者 青木、秋元、漆原、大浦、落合、志釜、関根、谷垣、中里、中塚、村松、吉田、山口、
掛下R、尾崎R (欠席:西山)

議題

- 1 次年度事業計画
・長期目標&30周年準備について、特にイベント部会のスケジュール、講演会内容等を中心に検討しました。
- 2 定期総会準備
・理事監事再任等について確認しました。
- 3 利用推進会議
・3月10日(土) 13時~(15時~ 保全管理懇談会)の予定等を確認しました。
- 4 安全管理
・次年度講習会(レスキュー講話)の準備状況報告がありました。
・事故等なし。
- 5 その他
・ZFCから、以前提案・了承済の外部依頼(間伐材木工)が看板作製で具体化する旨報告がありました。

<次回理事会>

日時 3月18日(日) 10:40~12:30

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 定期総会準備
 - 2 安全管理
 - 3 その他

●新年度会費納入について●

新年度会費について、振込用紙を同封しました。金額を確認の上、できるだけ早く郵便局からお振込みいただきますようお願いいたします。

<振込期限(厳守)> 3月15日(木)まで (ボランティア保険を途切れなくかける都合上)

- ・大人会費 2,000円 子ども会費 600円 家族会費 3,500円
(家族会費は同居の小学生以上なら何名でも同額ですが、入会申込が各自必要です。)
- ・振込手数料は、各自でご負担ください。
- ・郵便番号、住所、電話番号など訂正のある方は、通信欄に記入をお願いします。

振込先口座番号: 00240-1-59172 横浜自然観察の森友の会

私はジャケツイバラ

私はジャケツイバラ、つるだらけの観察の森で最も希少度の高いつるなのである。名前はイバラだがマメ科である。蛇のように絡みついたつるが棘だらけなのでそう呼ばれるのであろう。5月に手の届かない場所で華やかに黄色の花を咲かせているのを毎年眺めてくれることと思う。近くで観察したい諸君、少し待ってくれたまえ、野草の調査と保護のメンバーたちが実生を畑の隅に移植して育てている。何年かすると咲けるようになるだろう。その時は思う存分手にとって眺めてくれたまえ。おっと、くれぐれも棘に気をつけるように。

「なぜ、ジャケツイバラは観察の森にたくさんあるのに、観察の森の外ではあまり見られないのだろうか？」と知っている君の感性に脱帽しよう。そんな君に観察の森に近い神戸橋にあった見事なジャケツイバラの話をしようと思う。観察の森の外、いたち川のそばにあったこの株は誰かが守ってやらなければ河川改修の際に伐られてしまう恐れがあった。野草の調査と保護のメンバーはいたち川を管理している栄土木事務所に出向いて、河川改修の際には横浜市内で最も希少なジャケツイバラに気をつけて作業するようお願いしたのだ。それ以後毎年5月に花を咲かせているのを見ては、今年も無事だったねと喜びあっていたのだ。ところが昨年ネクスコの道路工事がその場所を直撃して、神戸橋のジャケツイバラは影も形もなくなってしまったのだ。行政と協力して守ろうとしたのに守れなかったんだ.....。

残された我々はせっせと花を咲かせ実をつけて、あちこちの隙を見つけては実生を発生させていくつもりだ。観察の森の中でなら、偶然良い環境に出会えば実生が育って、観察され、記録されて、保護してもらえるかもしれない。

もし、万が一、神戸橋のジャケツイバラが生き残っていたら、種は土の中にたくさん眠っているはずだから、発見した君は観察し記録し保護してほしい。その時、野草の調査と保護の主要メンバーは夢幻の中にも喜んでくれることと思う。

聞き書き：篠原由紀子



●友の会の理事、事務局お手伝い(特に、交流行事のお手伝い)を募集しています! ●

- 4月の総会に向けて、次年度から理事に加わっていただける会員を募集します。
- 定例会や交流行事準備など事務局をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。

<新入会員・初心者歓迎!>

皆が楽しく集える行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか?

これまでに学生等でも理事として活躍した例があります。無理のない範囲の参加で OK、どなたでも大丈夫です。

理事の会員公募枠(3名以内)は幅広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適!>

何かと役立つグループ運営の実践や自主研修、ボランティア活動のきっかけとして、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加・体験いただけます。

理事は会員公募枠の他に、事務局枠(5名)、PJ 枠(各 PJ 1 名以内、標準5~8名)もあります。詳しくは事務局メンバーや各 PJ へもご相談ください。

<緊急募集!>

◎ネットワーク担当補助

いるか丘陵や小網代などでのネットワークイベントへの参加を担当します。イベントはメーリングリスト等での募集に応じて会員が参加しています。多くの会員の参加でネットワークの輪を広げましょう!

◎会計担当補助

支出(清算)は原則として2ヶ月に1回の会議のときとするなど、担当者に合わせたペースで OK。入金(振込)管理については会員名簿管理担当や事務局メンバーと相談しながらできて安心です。

◎事務局ボランティア(事務局員)

主要な事務(会計・会員管理・編集・定例会・書記・渉外(ネットワーク)など)は担当理事制で役割分担しているため、行事・会議のお手伝い为中心となります。まずは定例会への参加や恒例の交流行事の準備などから始めてみてはいかがでしょうか。

<皆様の参加をお待ちしています!>

詳しい役割分担については4月総会後最初の理事会で調整・決定します。

多くの方に少しずつご協力いただけると、1人1人の役目がわかりやすくなって実行しやすくなります。

理事・担当の希望者は3月理事会(3月18日)の前までに今年度理事又は事務局へご連絡ください。

●季節の森を歩こう 活動報告●

1月7日(日)

参加者 1回目15名 2回目4名

スタッフ4名

「季節の森を歩こう」は毎月第1日曜日の11時～と13時～に開催しています。季節ごとに違った顔を見せてくれる森の生き物達から、自然の面白さ・不思議さを感じるガイドウォークを行っています。

冬の森で、ひときわ目をひく花を咲かせているツバキとサザンカ。よく似ているところと違うところ。参加者と一緒に比べてみると、花びらの枚数やおしべの形など、様々な発見がありました。

どちらの花びらにもつけられた足跡の犯人探しをしていると、やってきたのはメジロ。蜜を吸う時に花びらにしっかりと捕まる姿を観察できました。

やはり、どちらにも美味しい蜜があるのでしょうか。

ガイドウォークでは、鳥や虫などの動く観察素材を見られるかは運次第。この日の参加者は日頃の行いが良い方ばかりだったようです。

●森を守るボランティア体験(12月) 報告●

担当：ZFC 吉田、三村、山田(文責)

日時 平成29年12月17日(日) 9:30~14:00

場所 研修室及びクヌギ林

参加者 男性2名 女性1名

- 内容
1. チーフレンジャーの挨拶の後、担当レンジャーから観察の森の概要説明があり、そのあと今回の当番のZFC吉田が友の会と10のプロジェクトの活動の紹介と入会の案内をした。
 2. 本日の体験の準備のため炭小屋に移動し、ヘルメット、のこぎり、手袋などの装備を整えて、体験場所のクヌギ林に移動。
 3. 予め選木しておいたクヌギ1本の伐倒にあたり「安全な木の伐り方」について山田が説明し作業に取り掛かった。
まず倒す方向を決め、ロープをかけ、参加者の女性が受け口を伐る作業を行った。初めての体験のわりにはうまくできた。さすが小学校教師。次に男性2人が交代で受け口を伐った。ツルの働き、すなわち木が倒れるとき蝶番の働きをして受け口の方向に倒れる様子を説明し、その通りに伐り倒すことができた。
 4. 倒した後、枝の処理をして体験を終了した。
 5. センターに戻り、昼食のあと振り返りを行い、入会の説明などを行い終了した。参加者3人はこの体験に満足した様子だった。

●みんなで考える友の会のこれからワークショップ 報告●

友の会の30周年に向けた今年度の活動として、これからの友の会について考えるワークショップを企画しました。昨年夏に、アンケートの形で会員みなさんのご意見を伺い、半数以上の会員から回答をいただきました。ありがとうございました。

その回答をまとめ、9月にワークショップを行う予定でしたが、、台風の接近で中止に。ようやく年明けの1月21日（日）に実施することができました。

当日は、定例会や理事会を終えた午後からでしたが約20の方が参加されました。コーディネーターは観察センターの元チーフレンジャーで、今は静岡県でNPOの運営をしている今永正文さん。

山口会長の挨拶、オリエンテーション、アイスブレイキングの後、今永さんからアンケートの集計結果の報告や観察の森にかかわってきた方々からのインタビューの紹介。その中で、これからの課題として会員が特に関心を示した「今後必要な取り組み」の対象が、「若手人材の獲得・育成」「保全管理計画の着実な推進」「長中期目標の共有」の3点であることが確認できました。

後半はワールドカフェという、気楽にお茶でも飲みに来ておしゃべりをする、という想定の見聞交換。確認した3つの課題に合わせた3つのテーブルを自由に巡って話し合いました。特に結論を出すことを期待してはいないけれど、プロジェクトや活動の枠を越えていろいろ話し合うのも新鮮なもの。

「若手人材の獲得・育成」では、求められているのは必ずしも若い人だけではないことに気づいたり、「保全管理計画の着実な推進」では、保全管理計画をもっと分かり易く伝える工夫がいるのではということが提起されたり、「長中期目標の共有」では、会員がもっとお茶を飲むような機会や雰囲気が必要だね、というような意見も出ました。

最後に山口会長から、今日の意見交換をこれからの友の会のいろいろな計画や活動に少しずつ活かしていきましょう、という呼びかけがあり、大浦副会長にまとめをしていただきました。

参加いただいた皆さんにはありがとうございました。

（担当理事 中塚）

★報告 第5回 1月20日(土) 13:00~16:00 保全管理の勉強会

○テーマ「あの鳥たちはどこへいった? 観察の森の鳥たちの30年 パート2」

○参加者 友の会10名(関根和彦さん、藤原功さん、張間信子さん、篠原由紀子さん、佐々木美雪さん、佐々木彩愛さん、中里幹久さん、水上重人さん、落合道夫さん、村松古明さん)
レンジャー(掛下尚一郎、黒川麻紀野、大久保香苗)

○講師: 藤田剛さん(東大・助教)

○内容:

昨年1月の勉強会ではオオルリを例に、30年間の「ラインセンサス」調査の結果からその増加の様子を見ていきました。オオルリは大きな森がないと生きていけない鳥であり、県全体では減っている種です。園内でオオルリが記録された場所を調べ、どのような環境を好んでいくのか推測し、どう守っていけるか考えました。

今回は、オオルリとは逆に減ってしまった鳥に注目しました。開園当初と比較して減少している鳥としては繁殖期のスズメとホオジロが挙げられました。どちらの鳥も草地を好む種です。スズメはかつてセンターにあったエサ台を撤去したことも増減に影響していると考えられます。エサ台の影響を受けにくいホオジロについて、1986年、2000年、2015年の各4月の観察地点を白地図に図示すると、その減少が一目瞭然でした。作業後は、現在もホオジロがよく利用している環境を観察し、どのように利用しているか考えました。

後半はピクニック広場で、環境と鳥の関係を手軽に調べる調査体験を2つ行いました。一つめはスズメの「フン分布調査」。広場の端から端まで直線上に設けた1m×5m枠の中にあるスズメのフンの数とその周辺の草むらの位置と草の種類や密度を記録します。フンと草むらの位置関係からスズメ好みの草むらを推定しました。二つめは「スキャン・サンプリング」。一定の場所からスズメの行動を5分間観察し、1分おきにいた場所(地面、草の上、木の上)と羽数を記録します。各場所で記録されたスズメの割合からスズメの好む環境を推定しました。

結果をまとめたところ、スズメが背丈の高い草むらのそばを選んで、エサを採っている様子を図示することができました。今回は単発の調査でしたが、管理作業の前後で調査を行って違いを比べたり、繰り返し調査を行うことでよりスズメの好む環境が絞りこむことができます。

<これからの予定>

★3月4日(土) 13:00~15:00 フォローアップの会の今年度のまとめと展望

保全管理フォローアップの会は、この回で今年度は最終回です。今年度はピクニック広場を中心に生きものたちの利用や植生状況などを見てきました。そこで、今年度まとめとともに、ピクニック広場の保全と活用について一緒に検討し、方針や今後の課題を整理したいと思います。環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方はどなたでもご参加ください。

★保全管理懇談会(後期)のおしらせ 3月10日(土) 15:00~17:00 研修室にて

今年度、横浜市とレンジャーの行った環境管理作業(草刈や伐採など)や、補修工事についてご説明し、意見交換を行います。園内の環境管理に関心をお持ちの方なら、どなたでもお越しください

◎どちらの催しも、資料の準備の都合上、ご出席いただける方はできるだけ前日までに掛下、黒川までご連絡ください。ただしお申込みなしでも参加できます。

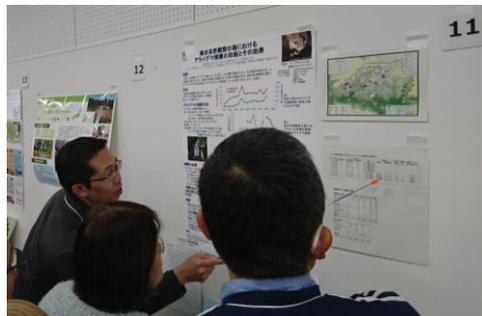
【報告】「アライグマ捕獲の取組とその効果」をポスター発表

1月20日(土)に帝京科学大学千住キャンパスで行われたモニタリングサイト1000里地調査交流会に参加しました。奴賀・掛下・アライグマ巡回ボランティア・森のカエル調査隊・定点カメラで動物調査の連名で「横浜自然観察の森におけるアライグマ捕獲の取組とその効果」というタイトルのポスター発表をしてきました。交流会参加者は150人ほどでした。ポスター発表の時間は1時間半ありましたが、常にポスターの前には見学者がいて、時間いっぱい解説をしましたので、なかなか盛況だったと思います。

ポスター発表の内容は、アライグマ捕獲の取組・巡回ボランティア制度・これまでの捕獲結果とヤマアカガエル卵塊数との関係についてです。捕獲を始めてから、アライグマが定点カメラに撮影される頻度が減り、ヤマアカガエルの卵塊数が増えた傾向がありました。

見学者からのコメントでは、「他の場所では、人数・人材不足で、巡回ボランティア制度をつくるのは難しい」、「横浜自然観察の森だけではなく、周辺緑地一帯で捕獲に取り組む必要がある」、「自分の調査地でも最近アライグマが目撃されてきているので、今後が心配だ」、などがありました。

しばらくの間、ポスターを自然観察センターに展示していますので、ぜひご覧ください。何かありましたら奴賀までご連絡ください。



発表風景 (写真：野口真磨子)

調査報告書バックナンバーを公開しました

観察の森での調査研究活動を収録した調査報告書。そのバックナンバーを Vol.1 から全てホームページで公開しました。トップページの下方から閲覧ページにアクセスできます。ご利用ください！

ボランティアさん

** 12/4~1/31 **

ありがとう

- 12/1~ カワセミファンクラブの皆さん
〔展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供〕
- 12/1~ 野草の調査と保護プロジェクトの皆さん〔開花情報のご提供〕
- 12/10 鳥のくらし発見隊のみなさま〔野鳥情報の提供〕
- 12/13 雑木林ファンクラブ 工藤国俊さん〔紙芝居の拍子木の修理〕
- 12/20 森の絵本づくりの会 井川喜久江さん〔調査用ざるの寄贈〕
- 12/23 友の会望年会参加者のみなさま〔ピクニック広場の植樹とがれき除去へのご協力〕
- 1/6 雑木林ファンクラブのみなさま〔ストーブ用薪の提供〕
- 1/10 雑木林ファンクラブ 片岡章さん〔タヌキの搬送へのご協力〕
- 1/23 カワセミファンクラブ 岡田昇さん〔センター前雪かきのご協力〕
- 1/25 カワセミファンクラブ 石川裕一さん〔タヌキの搬送へのご協力〕
- 1/27 雑木林ファンクラブ 関根和彦さん 大越徹朗さん 齊藤良知さん
吉田賢一さん 小島正彦さん〔凍結でスタックした車の救助のご協力〕
- 1/28 鳥のくらし発見隊 中里幹久さん、水上重人さん、矢島静さん
今村修さん、岩崎由春さん〔親子でバードウォッチングのサポート〕



イラスト：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●第30回定期総会 →3ページ参照
4/1(日) 10:00～
場所：自然観察センター研修室
議案：・2017年度事業報告・決算報告
・2018年度事業計画・予算
・理事監事の選任
・その他

※終了後、「森の説明会」(「森を守るボランティア体験」のオリエンテーション部分＝観察の森の役割、活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。

●野鳥・蝶・トンボの定例写真展
4/1(日)～6/3(日)

場所：ゴロスケ館
担当：カワセミファンクラブ

●共催行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の活動内容紹介とルールを～
4/15(日) 9:30～14:00 雨天催行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2018年2月18日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
3/4(日)・4/1(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)
～のんびり楽しむバードウォッチング～
3/11(日)・4/8(日)
9:00～13:00 少雨決行
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
3/28(水)・4/18(水)
10:30～12:00 絵本製作
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう
～生き物にあふれた畑を目指して～
3/17(土)・4/21(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
3/24(土)・4/28(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜